


平成28年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立南平高等学校 全日制課程		進路実績 特 徴 国公立・難関私立大(MARCH以上)227人合格(現役)	4年制 大 学 78%	短 期 大 学 3%	専 門 学 校 4%	就 職 0	そ の 他 14	
	謳え青春 築け夢 高い志を胸に			基 本 主 な 部 活 動 陸上競技部、ソフトボール部、バドミントン部、女子バスケットボール部、卓球部、硬式野球部、吹奏楽部、ジャグリング部 部活動加入率90%	学 校 評 価 生徒学校満足度87%、保護者学校満足度96%				
基 本 情 報	所 在 地 〒 191-0041 日野市南平八丁目2番3	電 話 番 号 042-593-5121	入 学 者 選 抜 情 報 募 集 人 員 推薦:男子33人・女子30人、一般:男子133人・女子121人	26 年 度 入 学 生 推 薦 男 子 2.52 女 子 3.03	27 年 度 入 学 生 推 薦 男 子 2.79 女 子 2.57	28 年 度 入 学 生 推 薦 男 子 1.85 女 子 2.53	学 力 検 査 男 子 1.59 女 子 1.68	学 力 検 査 男 子 1.65 女 子 1.37	学 力 検 査 男 子 1.58 女 子 1.60
	ア ク セ ス (1) 京王電鉄京王線南平駅下車 徒歩10分 (2) (3)	学 科 普通科							
目 指 す 学 校 生徒が自分の夢や希望を高くもち、その目標に向かって努力と経験を積み重ね、あきらめない心を育成し、進路を切り開かせる学校									

目指す学校 生徒が自分の夢や希望を高くもち、その目標に向かって努力と経験を積み重ね、あきらめない心を育成し、進路を切り開かせる学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	学力向上「わかるからできるへ、授業の質の保証」 ・「南平学カスタンダード」達成への組織的・計画的な学習指導体制の充実 ・教職員の組織的・計画的な研究・研修活動の充実 ・課題解決型授業、AL等の生徒の学習意欲向上に向けた様々な試み	①平成28年度入学生から新教育課程実施。数学・英語(習熟度別授業)、体育(少人数授業)の実施による、きめ細かな授業 ②教科主任会を中心とした組織的・計画的な学習指導体制 ③生徒による授業評価(記述欄あり)による、授業改善 ④校内外における相互の授業参観、指導教諭の授業参観、予備校研修参加、校内ICT機器活用研修による研修活動 → 「学校評価アンケート」:学校及び教職員の「学力向上への努力」「学習支援の積極性」の評価は高いが、生徒の「学業と部活動の両立」の評価はそれに比べると低い。体力テスト結果は、都立学校内で上位である。読書未読率0%。	
目 標 ②	進路実現「高い志に向けてチャレンジさせる指導」 ・三年間を見通した「進路指導計画」に基づく進路指導の充実 ・進路指導部・教科・学年の連携による系統的・発展的な進路指導の充実 ・進路指導データ、外部連携による情報収集を生かした進路指導の充実	①3年間を見通した「進路指導計画」に基づく学年差のない進路指導(模擬試験ソフトの全員導入、進路通信発行、進学指導校内研修会、放課後・休日の自主学習支援体制、ウィンターセミナー等) ②長期休業期間を中心にした補習・講習の開催 ③年3回の進路調査の実施 → 「学校評価アンケート」:本校の生徒・保護者から高い評価を得ている「充実した学校生活」を支える大きな要因が、本校では「進路指導」であった。「進路希望を実現させる指導」はもちろん、「進路希望を作る指導」により力を入れ、1年生から3年生の狭間である2年生の意識を高める。	
目 標 ③	信頼され、開かれた学校「生徒・保護者・地域の意見の反映」 ・地域と連携した「人間と社会」の組織的な実施と充実 ・防災教育の推進による、社会貢献意識の醸成と実践力の養成 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進 ・生徒による授業評価、学校評価等の結果を生かした教育活動の改善	①平成28年度「東京都西部学校経営支援センター特別指定校」指定による「教科主任会を中心とした進学実績の向上」の取組開始(平成29年度まで) ②全分掌・1学年・地域が連携した「人間と社会」の実施。 ②地域と連携した防災教育の推進 生徒会・部活動を中心とした地域でのボランティア活動 ③教育課程員会を母体とした各授業でのオリンピック・パラリンピック教育、ラグビーワールドカップ日本代表キャプテンの講演会実施 ④生徒による授業評価結果・外部コンサルタントによる「学校評価アンケート」による専門家のアンケート結果分析 ⑤学校全体で取り組む広報活動の推進 → 生徒による授業評価結果・学校評価アンケート結果を生かした学校経営	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	25年度		26年度		27年度		今年度		29年度	30年度	31年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	家庭学習の習慣をつけさせ時間を増加させる(平日平均1年75分、2年90分以上)	70	84	85	69	75	48	82.5	83.1			
目標②	国公立・難関私立大学(MARCH以上)への合格者数の増加(現役生200人以上)	130	151	155	183	200	227	250	210			
目標③	受験応募倍率を上げ安定させる(1.53倍以上)	1.50	1.34	1.40	1.64	1.53	1.59	1.60	1.63			

